

絵本の読み聞かせ

みなさんは、小さなお子さんやお孫さんに絵本の読み聞かせをしてあげていますか。最近では、子ども向けのテレビ番組やDVDがたくさんあるので、そればかり見せているというのではないのでしょうか。実際、おとなしく見てくれるので忙しいお父さんやお母さんにとっては大変助かるものです。しかし、テレビ番組やDVDは情報が一方向的に流れてくるので、こちらが考える必要があります。考える能力が育たないと見えるもの、しか反応できなくなり、考える幅が極端に狭まってしまうと言われていきます。

また、最近ではパソコンや携帯電話の普及によって、小さなお子さんやそのご家庭に大きな影響を与えています。

親がパソコンや携帯電話に夢中で、お子さんの興味・関心に気づけていなかったり、親子



の会話や体験を共有する時間が減っているということはないでしょうか。

絵本がなくても子どもは育ちます。それでも子どもに絵本が大切だということには、それなりの理由があります。

♪想像力が育ちます

絵本を読んであげると子どもはページをめくる前に次々に出てくるストーリーに思いをめぐらせることができます。

次はどうなるのかな？なにがでてくるのかな？わくわくしながら次のページをめくりまわります。こうして自分で考える力、想像する力が育っていきます。

♪子どもに愛情を与え、言葉と心をはぐくみます

赤ちゃんの体の成長にミルクが必要のように、赤ちゃんの言葉と心をはぐくむためには、抱っこ、この温かさの中で優しく語りかけてもらうことが大切だと言われています。



こうした語りかけを通して、たぐさんの言葉に出会うとともに、自分が愛されていることを感じ、

人を信頼したり心を通わせることを学びます。

♪脳の発達を促します

人間の脳は子どもの時期にほぼ完成します。よって、子どもの時期に脳にいい刺激を与えることが大切です。よい刺激のひとつが「話しかけること」。読み聞かせは話しかけと同様に、子どもの耳に心地よく入り、脳の発達を促してくれます。

※絵本を読み聞かせるコツ※

- ・子どもがよく知らない言葉は絵を指差しながら読みましょう。
- ・言葉のイメージを強調するように抑揚をつけて読みましょう。
- ・文字のない絵だけのページもしっかり見せてあげましょう。
- ・子どもが好きな本は繰り返し読んであげましょう。
- ・絵本を読み終えたときの喜びや満足感を大切にしましょう。
- ・絵本を読む大人もお話を楽しみましょう。

とにかく、難しいことは考えず、まず、テレビを消して、お子さんを膝の上に抱いて、静かに絵本を開いて読んであげてください。きつと、そのひとときはお子さんと気持ちの寄り添い、通い合うことでしょう。

上島町では、

ブックスタート事業に

取り組みんでいます

親子が、絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけ作りとしてブックスタート事業を実施しています。

1歳6か月児・3歳児健診の時に絵本をお渡しして、ご家庭でも読み聞かせをしてもらえるようにお伝えしています。絵本と一緒に見ながらお父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんがお話することは、子どもにとって素晴らしい刺激になります。ご家族と一緒に絵本を楽しんでください。



【ブックスタート事業で配布した絵本】

平成26・27年度

3歳児…ロージーのおさんぽ
1歳半児…だるまさんと

平成24・25年度

3歳児…ぞうくんのあめふりさんぽ
1歳半児…どんどこもんちゃん

平成22・23年度

3歳児…ぐるんぱのようちえん
1歳半児…うずらちゃんのかくれんぼ